

萬乘ノ主

事にはあらじ、公家一をいかにしたてまつらんとする事をかまへたるぞなど、いみじき事をおしはからせ給略、下

〔長門本平家物語十四〕平家の殿ばらは、曉西國へ落るべくとて、以の外にひしめき候なるが、具し參らせんとて、既に公家德安を迎へ參らせて候なり、

〔保元物語三〕新院御遷幸事

新院德崇ヲ讃岐國へ遷シ奉ルベキ由ヲ奏聞ス略、中異國ヲ聞バ略、中我國ヲ思ヘバ、安康天皇ハ

繼子ニ殺サレ、崇峻天皇ハ逆臣ニ犯サレ給ヒキ、十善ノ君、萬乘ノ主、先世ノ宿業ヲバノガレ給ハズト思召慰ムハシトゾ成ニケル、

〔源平盛衰記四十三〕二位禪尼入海事

悲シキ哉、月ニ瑩シ萬乘ノ玉體德安、蒼海ノ浪ニ影ヲ沈御坐事ヲ、

〔太平記九〕主上上皇御沈落事

何クヨリ射ル共知ラヌ流矢、主上德光ノ左ノ御肱ニ立ニケリ略、中忝モ萬乘ノ主、卑キ匹夫ノ矢

前ニ被傷テ、神龍忽ニ釣者ノ網ニカ、レル事、淺猿カリシ世中也、

○按ズルニ、萬乘之君、孟子公孫丑ニ見エテ、同書梁惠王篇萬乘之國ノ注ニ、萬乘之國者、天子畿

内、地方千里、出車萬乘トアリ、

〔源平盛衰記四十三〕二位禪尼入海事

昔ハ一天ノ主德安トシテ、殿ヲハ長生ト祝ヒ、門ヲバ不老ト名ケシカ共、今ハ雲上ノ龍下テ、忽ニ

海中ノ鱗ト成給コソ悲シケレ、

〔太平記四〕先帝遷幸事

先帝德醍醐後ヲ隱岐國へ遷シ奉ル略、中京中ノ貴賤男女、小路ニ立雙テ、正シキ一天ノ主ヲ下トシテ

一天ノ主